

令和4年8月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	令和4年8月23日 (火)		
2 開会及び閉会	開 会	14時00分	
	閉 会	14時22分	
3 出席委員	教 育 長	菅 野 和 良	
	委 員	片 山 美 香	
	委 員	河 内 智 美	
	委 員	石 井 希 典	
	委 員	上 西 芳 樹	
4 会議出席者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
教育次長	後 河 正 浩	教育次長	奥 橋 健 介
次長 (教育総務部長兼務)	疋 田 洋 一	学校教育部長	谷 岡 哲 郎
生涯学習部長	道 広 浩 章	教育企画総務課長	寺 坂 芳 子
企画調整担当課長	植 山 智 恵	教育給与課長	今 村 正 樹
教職員課長	齋 藤 靖	教育支援担当課長	一 守 和 弘
保健体育課長	藤 井 健 介	教育研究研修センター所長	名 合 淳
生涯学習課課長代理	永 井 正 博		
事務局 (教育企画総務課課長補佐)	井 本 浩 行	事務局 (教育企画総務課課長補佐)	矢 谷 隆 宏
5 議題及び結果			
第19号議案 令和3年度岡山市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書 について	原案可決		
6 教育長の報告 [令和4年7月9日(土)～令和4年8月12日(金)]			
7/24 8/1	岡山市子ども会親善球技大会中央大会 しゃべりんぴっく	地域子育て支援課 指導課	

7 議事の概要

<p>教育長 全委員 教育長 全委員 教育長</p>	<p>○ 8月の教育委員会定例会を開会したいと思う。 傍聴希望の方が1名いらっしゃる。入室してもらってよろしいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 日程第1、会期について、本日1日限りとしてよろしいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 本日1日限りとする。 日程第2、こちらに7月の定例会の議事録があるので、順次ご覧いただき、問題がなければご署名をお願いします。 日程第3、事業報告をご覧になって、ご意見等はあるか。</p>
<p>片山委員 教育支援担当課長</p>	<p>○ シャベりんびくについて、参加状況、今後に向けての課題、あるいは抱負を教えていただければ。</p> <p>○ 8月1日10時から12時までという2時間で、本部を桑田中学校において実施した。本来なら集まって実施するが、今年度もコロナ禍のためリモートで行うこととした。参加校は36校、緑ヶ丘中学校と上道中学校が校内事情によって参加しておらず、それ以外の学校は参加し、参加生徒が72名である。内容については、学校の取組紹介と、後半は校則の在り方についてグループ協議を行った。 昨年度と変わったところは、司会からグループのコーディネーターまで全てを子どもたちが行ったということ。それから、学校の取組を昨年度はカメラの前で紙をかざして映す子が多かったが、今年度は全ての学校がスライドや動画を挿入しながら説明をすることができていたので、クロームブック等の使い方には慣れてきているということ。それから、グループのときにハウリング等のトラブルもあるが、昨年までと違ってハウリングが起こったら全員がマイクのスイッチを押すとか、冷静な対応ができていた。 ただ、残念だったのは、休み時間等に、本来なら子どもたちが雑談をしたり交流をして連絡先を交換して、生徒会同士で協議をしていこう、同じような取組をしているから頑張っていこうという話ができるのだが、クロームブックの場合は、休憩時間になったときに、退出ということで切れてしまうところ。それから、グループで全ての子どもたちがマイクをオンにしたままグループ協議ができたのが二つほどだった。残りのグループについては、音が二重になって聞きづらいということがあったので、発言ごとにスイッチを押して協議していたが、二つのグループについては全てマイクをオンにできたので、自由に一緒に発言をしながら協議が進んだ。子どもに任せるということで不安もあったが、非常に積極的で前向きな協議ができた。特に、ここで結論を出すとかということではないが、議論が深まったと考えている。</p>
<p>片山委員</p>	<p>○ ICT教育を進めていただいて、うちの子も夏休みにもタブレットを借りて帰ってきて、課題をやったりしていた。スライドも、パワーポイントか何かで作られているのだろうか、うちの子は、小学生も中学生も学校でやったと言って、かなり活用できていたので、すごくありがたいと思う。来年度は、ハウリング等機械の機能の問題等をもし改善できるのであれば、参加しやすいという意見があるのではないかと思うので、対面のよさも、それからリモートのよさも生かしながら、活発に展開して行ってほしい。</p>
<p>教育長 全委員 教育長</p>	<p>○ ほかにないか。</p> <p>○ 〈なし〉</p> <p>○ 日程第4、第19号議案、教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について教育企画総務課から説明をお願いします。</p>
<p>企画調整担当課長</p>	<p>○ 19号議案令和3年度岡山市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書についてご説明申し上げる。 岡山市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書については、前年度の</p>

教育委員会の活動状況及び岡山市教育振興基本計画アクションプランに掲載した事務事業を対象として行っている。本議案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づいて、令和3年度岡山市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書を議会に提出し、公表するに当たり、教育委員会の議決を得ようとするものである。

委員の皆様方には、これまでの協議会で繰り返しご審議いただいているところであるが、本日は最終のご審議をいただき、議決をいただきたいと考えている。今後の方向性を中心に、繰り返しの説明になる部分もあるが、よろしく願います。

それでは、資料を見ていただきたい。

28ページまでについては、前回から内容の変更はない。ただ、文言それから表記の統一等を行っている。

29ページをご覧いただきたい。ここからは2ページにわたり、外部評価委員からの評価、外部評価委員と教育委員との意見交換会での議論を踏まえ、教育振興基本計画進行管理会議で協議した内容を令和4年度中に改善すること、令和5年度の取組の方向性、その2点で整理し、三つの項目にまとめている。

まずは、一つ目、「学力の向上」及び「問題行動等の防止及び解決」に向けた取組の充実についてである。ここについては、前回の協議会でのご意見を踏まえ、今後の取組内容に合うよう項目名を修正している。

内容としては、個別の学習、集団での学習、それぞれの利点を生かすICTの効果的な活用について、子ども、教員の両面からの効果的な取組を進めること。岡山や海外の文化等に触れる機会をさらに充実させていくこと。不登校については、従来の支援に加え、今年度から新たにアウトリーチ型の支援や自然体験活動の場の提供を進めており、今後、端末を使った授業等の支援を充実させていきたいと考えている。

次に、二つ目、教育環境の整備と地域との協働についてである。

ここでは、子どもが役割をもって参加し、直接体験による学びを充実させることや、本年度の重点的な取組の一つである新規事業の地域未来塾について。また令和5年度は、地域と学校との連絡調整や活動の企画運営を行う地域学校協働活動推進員の確保に努めてまいりたいと考えている。

続いて、三つ目、各政策を支える事業及びコロナ禍を踏まえて効果的に実施するための工夫についてである。

ここには、子どもに必要な力をつけるため、教職員がしっかりと子どもと向き合い、力を発揮しやすい環境づくりとして働き方改革の視点で整理をし、記載をしている。働き方改革推進プラン（仮称）の策定、教員確保、保護者の利便性だけでなく教員の業務軽減にもつながる取組や、休日の部活動の段階的な地域移行に係るモデル事業の実施、ICTに係るサポート体制などを記載しており、必要な検討を進めていく。

なお、教員の確保については、前回の協議会での意見を踏まえ、教職の魅力の発信に取り組むことと、本市で教職を目指す人材をさらに確保できるように実施方法を検討するという表現に改めている。

最後の段落には、目指す子どもを育成するために令和5年のアクションプラン全体に関わることとして、複数の施策や事業をどう絡めて推進していくか整理することについて記載をしている。その1つとして、6つの政策を教職員の資質・能力向上や教職の魅力回復につながる面から改めて捉え直していきたいと考えている。

説明は以上である。

なお、本定例会で議決をいただければ、8月30日の子ども・文教委員会で報告し、市立学校園長には文書で周知、インターネット等で市民の皆様にも公表する予定である。ご審議をよろしく願います。

教育長	○ 29、30ページの説明、それから今後の予定についての説明があった。今のことについて何か、振り返ってみて前の分でも結構だが、ご質問やご意見があれば、よろしくお願いします。
河内委員	○ この点検・評価を踏まえて、間もなく令和5年度の予算要求につながっていくのであろうと思うけれども、まだまだ予算の細かい部分はこれから決めてくださるのだろうが、どのようなことをこの評価から予算要求へつなげていきたいのか、今の時点で何かご説明いただけることがあればお願いしたい。
教育長 教育次長	○ どう、予算要求にこれを生かしていくか。 ○ ご指摘の予算編成、これから本格化をしてまいる。新しいことばかりではなくて、今既存の事業も数多くあり、それを拡充するという視点もあるが、教育施策をどのように組み立てて、見せていくかというところが今大きな課題だと認識しており、こういう点検・評価の中で洗い出された課題に対して、今は別のところで事業化されているけれども、見方を変えれば、こちらとこちらを合わせればとかいうところもあると思うので、少し多面的に検討を加えた上で、それぞれの事業について、色づけというか、パッケージ感を出していくということが、今のところの課題だと思っている。新しいものも今後検討していくけれども、それぞればらばらにということではなく、この考え方に基づいて、どういったところにどういう効果をもたらすかということ、関係課それぞれ、横でしっかり連携をして検証しながら、予算につなげていきたいと考えている。 具体的なことについては、ここで申し上げることはできないけれども、今ご指摘いただいたように、せっかく点検・評価をしたものをどのように予算につなげるかということが一番、今後の大きな課題だと思っているので、十分配慮して編成作業に努めてまいりたいと考えている。
教育長 石井委員	○ ほかにあるか。 ○ 今の質問にも関係するところであるが、既存のところと新しいものということでお話をいただいたけれども、新たにやるべきことがどんどん増えていっているというのが実情で、それに対応するだけでも精いっぱいという状況があると思っている。その部分は、全国的に起こっていて、全国的に並べて評価されるとか比べられるとか、そういった状況もあって、本来的にこうしたほうが良いというのと、あと途中の段階で比べられるという意味においてこうしておいたほうが良いとか、いろんな見方があると思うが、他の自治体の進め方とか状況というのも見ながら、取り入れられるものは取り入れていただきたいと思う。 例えば、この中で言えば、ICTの活用とか、クローズアップで出されている英語の評価とか、そういったところは数字的に見ると、若干平均と違いが出ていたりするところもあって。それでも、ICTはすごく取組をされていると思うが、全国一斉にどんと急にやる、そういう取組についてもっと力強くお願いしたいと思う。よろしくお願いします。
教育研究研修センター所長	○ ICTについて、おっしゃっていただいたとおり、他の自治体を参考にしながら本年度も進めているところである。この夏には、全家庭での持ち帰りということも実施した。これも全国的には前のほうに進んでいる取組かと考えている。今後も他の自治体を参考にしながら取り組んでいく。
上西委員	○ 30ページの、休日部活動の地域移行について、モデル事業の実施ということが書かれているが、このような事業はどのような形でいつ頃始まるのかとか、今後のスケジュールが決まっているものがあれば、教えてほしい。
保健体育課長	○ 休日活動の件については、現在、関係課とか、あるいは関係団体とヒアリングや話し合いをしているところで、その中で来年度どのようなことができるか今検討しており、予算要求していくのか、どのようなことができるのか検討した上で、示せることがあれば示していきたいと考えている。
教育長	○ 前提は5年、6年、7年にモデル事業をなささいということで、モデル事

<p>片山委員</p> <p>教職員課長</p> <p>教育長 全委員 教育長</p>	<p>業の中身もお任せなので、これから何していくか、部活の種類もまだ全く決ま りがないし、学校数の決まりもないし、どうも何かやらないといけないと いうこと。いろんなどころからの意見を今聴取しているところでもある。 中学校は本当に導入されたら大きく変わるような気がする。 ほかにないか。</p> <p>○ よい教育のために、よい先生にたくさん来ていただくというのは、とても 大事なことだと思うが、この最後の30ページのところに、5年度実施の採 用試験に向けても、この市で教職を目指す人材の確保ができるような実施の 方法を検討すると書いているけれども、特に今年度の状況だとか、現時点で の応募の先生がどんな状況か教えていただければと思う。</p> <p>○ 今年度採用試験の実施状況について、簡単にご報告をさせていただく。 今年度の令和5年採用の採用試験については、小・中学校、養護教諭、栄 養教諭を含めて、662名の出願があった。これは、昨年度に比較して4名 減となっている。実際に1次試験の受験者は593名の者が受験している。 昨年度は616名が受験をしている。2次試験を8月14日から18日まで、 実施を終わったところであり、今後9月下旬に2次の結果を発表する予定に している。昨年度に比べて多少の減少はあったが、広報活動や大学等に向 いた募集を行い、何とか昨年並みの人員を確保できるのではないかとと思っ ている。 実際には、大学等へ出向いて説明会を行っており、昨年度実績で言うと、 昨年の春、秋と、延べであるが70大学に出向き、延べ1,070名の大学 生の参加を得ている。そういった努力とか、また課題等を検証して、来年度 の実施については、さらに岡山市の教職を目指す志願者を確保できるように 取り組んでまいりたいと考えている。</p> <p>○ それでは、第19号議案は原案どおり可決ということでよいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ では、原案どおり可決する。 本日予定していた議案の審議は全て終了した。 以上をもって令和4年8月教育委員会定例会は閉会とする。</p>
<p>傍聴の状況</p>	
<p>報 一</p>	<p>道 般</p> <p>1名 0名</p>